

さしひいて考えて

____年 ____組 名前

/ 6

- 白い玉と黒い玉には、それぞれ1つあたりの得点が決まっています、
 白い玉が3つと黒い玉が4つでは53点、
 白い玉が5つと黒い玉が4つでは67点になります。
 このとき、白い玉1つと黒い玉1つの得点をそれぞれ図を使って考えます。

① 白い玉(○)や黒い玉(●)、または数字を書き入れることで、下の図を完成させましょう。

○ ○ ○ ● ● ● ●	→ 53点
○ ○ ○ ○ ○ ● ● ● ●	→ 67点
これらのちがいを考えることで、	
<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 20px; margin-bottom: 5px;"></div>	→ () 点 … (あ)

② 上の図の(あ)のことから、白い玉1つの得点を求めましょう。

(式)

点

③ 黒い玉1つの得点を求めるための下の図を完成させましょう。

○ ○ ○ ● ● ● ●	→ 53点
○ ○ ○	→ () 点
これらのちがいを考えることで、	
<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 20px; margin-bottom: 5px;"></div>	→ () 点 … (い)

④ 上の図の(い)のことから、黒い玉1つの得点を求めましょう。

(式)

点

さしひいて考えて

____年 ____組 名前

/ 6

- 白い玉と黒い玉には、それぞれ1つあたりの得点が決まっています、
 白い玉が3つと黒い玉が4つでは53点、
 白い玉が5つと黒い玉が4つでは67点になります。
 このとき、白い玉1つと黒い玉1つの得点をそれぞれ図を使って考えます。

① 白い玉(○)や黒い玉(●)、または数字を書き入れることで、下の図を完成させましょう。

○ ○ ○ ● ● ● ●	→ 53点
○ ○ ○ ○ ○ ● ● ● ●	→ 67点
これらのちがいを考えることで、	
○ ○	→ (14) 点 … (あ)

② 上の図の(あ)のことから、白い玉1つの得点を求めましょう。

(式) $14 \div 2 = 7$

7 点

③ 黒い玉1つの得点を求めるための下の図を完成させましょう。

○ ○ ○ ● ● ● ●	→ 53点
○ ○ ○	→ (21) 点
これらのちがいを考えることで、	
● ● ● ●	→ (32) 点 … (い)

④ 上の図の(い)のことから、黒い玉1つの得点を求めましょう。

(式) $32 \div 4 = 8$

8 点